

隣りの町、旧市来町では毎年8月初め、無形文化財に指定されている「七夕おどり」が行なわれる。母の実家が旧市来町で、毎年母にせがまれて「七夕おどり」を見に行くものでした。故郷を離れ、何十年経っても楽しみにしていた母はもういないが、祭りの度に楽しそうに母の姿を思い出します。地域の祭りや行事が、担い手が少なくなり継続が危惧されていると聞く。故郷を想い楽しみにしている祭りや行事を是非今後とも継続して欲しいものです。
(T.O 東市来町 男性)

お便りありがとうございます。
七夕おどりの写真を見ました。大きな張り子の動物が練り歩く壮大な祭りでした。市来の人たちが毎年楽しみにしているのも分かる気がします。日吉のせつとへには、日吉を離れた人がこの祭りのために帰ってきているという話も聞きます。伊作太鼓踊りや妙円寺詣り。地域の方々が大切に守り続けている伝統ある祭りや行事。いつまでも続いて欲しいですね。

私の育った町では、5月にお祭りがあつた。木製のタイヤの着いた神輿を子どもたちが引つ張るのだ。中学生になると神輿の中で鐘を叩くことができる。憧れだつた。平日だと中学校から早く帰ることができた。中3の時だつたと思うやつと鐘を叩くことができた。気分が良かった。今では神輿のサイズも小さくなりゴムのタイヤに変つてしまつた。もちろん鐘などない。あの頃の神輿が懐かしい。
(陸 伊集院町 男性)

お便りありがとうございます。
地域の祭りや行事が、担い手の減少などで廃れて言つてるとい話を聞きます。中学生になると鐘を叩くことができるというのは、地域の子どもたちにとってイニエーションの意味があるのかもしれない。地域の祭りが、いつまでも子どもたちにとっての“あこがれ”であつてほしいものです。

今月のお題～お祭りエピソード～

～日置市お便り板～

人口が5万人をきりましたね。淋しい気がしますが。鹿児島市内に姉がいて、たまに遊びに行きますが、デパートに行く人と人が多く、道路は車、車、車。伊集院に帰ってくるとホッとします。私にはこれくらいがちょうどいいと、いつも思います。でもこれ以上人口が減ってほしくない、せめて現状維持でいきたいですね。たまに赤ちゃんを抱っこしている人に会うと、うれしくてつい声をかけてしまいます。

(赤ちゃん大好きおばちゃん 伊集院町 女性)

お便りありがとうございます。

人口5万人をきってしまいました。合併時の人口が5万3千人ちょっと。5万人というラインを切ったことで、行政としてもがんばらなければならぬと背中を押された気がします。さまざまな部署がそれぞれの業務でがんばっています。私も広報として日置市を盛り立てていきます。

毎

月ひおきをお送りいただきありがとうございます。います。私が住んでいる市では市政だよりとして1冊にまとめてあるので、ひおき、お知らせ版、議会だよりの3分冊は手問ひまかけておられますね。八尾市観光協会が出しているYamaniaを同封させていただきました。1つのテーマに対してそれに携わる人々の声を載せているんですが、ごだわりが面白いですよ。ご参考になさってください。

(村雨丸 大阪府 女性)

お便りありがとうございます。

そして、冊子をありがとうございます。参考にさせていただきます。1人で広報を担当していると、どうにも取材が行き届かなくて申し訳ないと思っております。もっと市民の声を聞いて紙面に反映させなければと考えています。これからもがんばりますので、広報ひおきをよろしくお願いいたします。

フリートーク

～日置市お便り板～